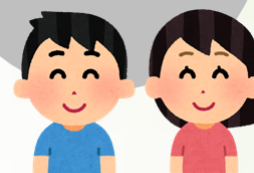


身体  
表現



障害  
福祉



令和元年度 課題解決型ワークショップ  
身体表現×障害福祉

# 障害福祉において想定される課題

- ・ 自己肯定感の向上
- ・ 日々の満足度・幸福度の向上
- ・ 利用者の特性に合わせた支援

# ワークショップ概要

即興で奏でられる陽気な音楽に導かれて、体を動かしたり、音や声を出したりしながら楽しみます。自然と体が動きだしてしまうような雰囲気の中で、それぞれが自由に表現し、仲間の反応を受けて自分を表現することの楽しさを感じていきます。普段あまり馴染みのない利用者同士にも自然と新しい関りが生まれ、ワクワクとした気持ちが膨らみます。

また、利用者と職員という立場ではなく、全員で一緒に楽しむことで、みんなが自然と笑顔になり、一体感も生まれてきます。

|    |               |
|----|---------------|
| 講師 | 新井 英夫 氏 (体奏家) |
|----|---------------|

|     |                  |
|-----|------------------|
| 対象者 | 障害福祉サービス事業所 とまと園 |
|-----|------------------|

|     |                           |
|-----|---------------------------|
| 実施日 | 2019年12月5日（木）（1回実施、1時間／回） |
|-----|---------------------------|



# ワークショップ参加者の声

## 【施設の声】

- ・ 普段笑顔が見られない人にも笑顔が見られて職員もうれしくなった。
- ・ 利用者の**普段とは違う新たな一面**を見ることができた。
- ・ パニックに陥りやすい方もいるが、今回は大丈夫だった。
- ・ **園の行事にあまり参加しない人も参加してくれて**、楽しそうで印象的だった。
- ・ 自立に向けた訓練をしていくなかで、こういった**楽しく自由な表現活動を取り入れていくのも大事**だと思った。

## 【アーティストの声】

- ・ **言葉での表現が不得意な方も、動きや表情で自分の思いを豊かに表現されていた。**
- ・ 表現をお互いに「見る、見られる」という関係の中で、**誰もが主役になれる瞬間**があった。
- ・ **非日常だからこそその触れ合い**がたくさん生まれたことで、利用者さんの反応が活性化する場面がたくさんあった。
- ・ スタッフの方たちが垣根を越えて参加してくださったことで、場が温まりとても良かった。

## 【ロジックモデル】

